



# 糖尿病通信

—45—

糖尿病と上手にお付き合いするために

## 食事、血糖、インスリンと薬の作用

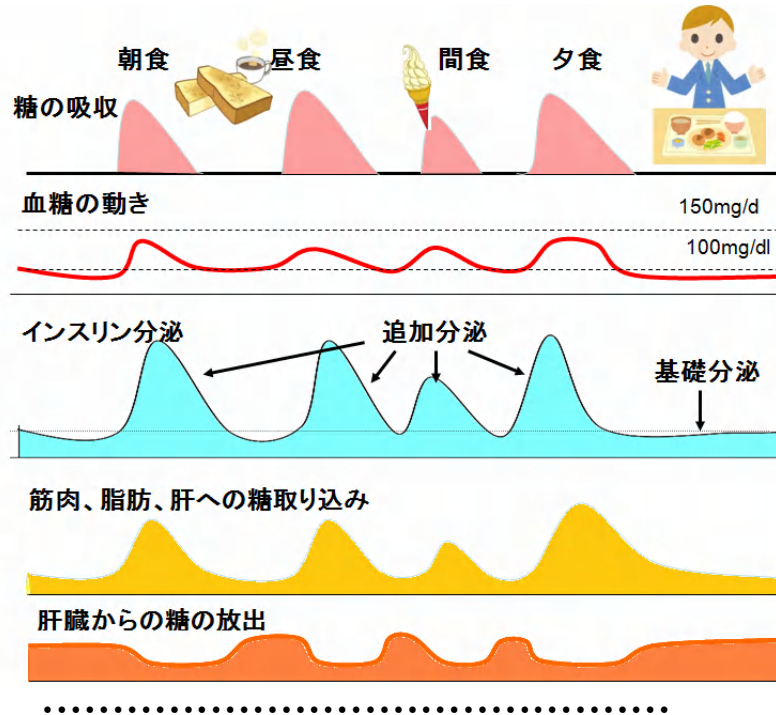
糖尿病の治療は、血糖やインスリンの動きを糖尿病のない人に出来るだけ近づけることを目指します。

### 1. 正常な血糖やインスリンの動き

血糖値は常に変動しています。しかし、糖尿病のない、正常な方の血糖値は、70~110程度の範囲に調節されているのが普通です。血糖調節の複雑なメカニズムの中心となるのはインスリンです。

食事をすると、糖は小腸から血液の中に取り込まれます⇒⇒血糖値が上昇すると、たちまち膵臓からインスリンが分泌されて(追加分泌)、腸から吸収された糖と共に肝臓に流れ込みます⇒⇒肝臓では、空腹時には糖を合成して血中に流していますが、糖とインスリンがどつと流れ込んでくると、合成をやめ、糖を取り込みます⇒⇒肝臓を通り抜けた糖は、血液の中に流れて、血糖値を上昇させますが、インスリンによって筋肉や脂肪組織に取り込まれます⇒⇒こうして元の血糖値に戻ります。

空腹時に肝臓が血糖を作りすぎないように調節しているのも、インスリンの役目です(基礎分泌)。



### 3. インスリン注射

インスリン注射は、作用時間の違う各種を組み合わせると正常なインスリン分泌をまねます。

#### ①持効型:ランタス、レベミル(NPH インスリン)

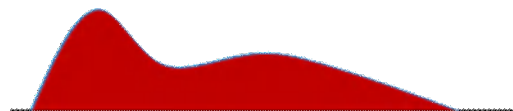
基礎分泌をまねます



#### ②速効型、超速効型: 追加分泌をまねます。



#### ③30R、30ミックス

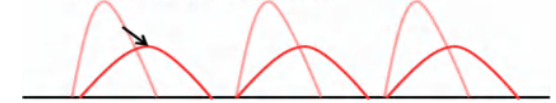


### 2. 経口薬と糖、インスリンの動き

経口薬にはそれぞれの役目があります。

#### ①αGI:ベイスン、グルコバイ、セイブル

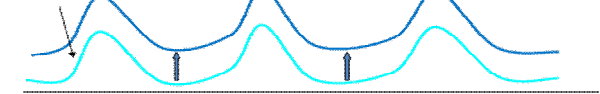
糖の吸収をなだらかにする



#### ②SU 剤(ダオニール、アマリール)

グリニド薬(ファスティック)

分泌不足を補う



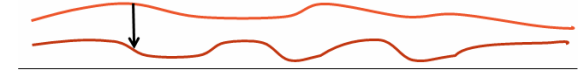
#### ③チアゾリジン誘導体(アクトス)

肝、筋肉、脂肪への糖の取り込みを良くする



#### ④ビグアナイド(メルピン)、チアゾリジン(アクトス)

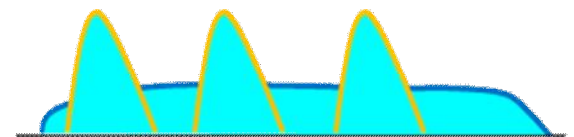
肝からの糖の放出を抑える



\* 新しい経口薬 DPPIV 阻害薬にはインスリン分泌刺激作用と肝からの糖放出を抑える作用があります。

#### ④組み合わせ:強化インスリン療法

正常のインスリン分泌に近い形になります。



経口薬やインスリンの特徴と効果を十分発揮するため、運動や食事にも気を配りましょう。 内科 柳澤